

るが、未だ解決を見ていない。われわれ外国人にとって不便なのは蔵書がドイツ語圏の文献を中心に整備されていて他の国語のものが少ないことである。また蔵書については例えばウィーンが生んだ限界効用学派の世界的経済学者カール・メンガーの全集がそろっていないことなどは惜しまれてならない。

ウィーン人の生活はおしなべてアダージオのテンポで展開する。学内事務や図書館もその例にもれない。ウィーン大学に入学してしばらくはこうした内国人にとっては至極当然のリズムにしばしば感わされ、また歴史ののしかかるような重圧を感じさせる総合法学両図書館も私には当初何となく近寄り難いものがあったが、二年の歳月が流れた今となっては総合図書館の入口にいつも植えこんである紅い花が、法学図書館の大とびらのきしむ音がなつかしい思い出である。

(法学部大学院学生、昭和40年10月から2年間政府留学生としてウィーン大学に留学)

資料紹介

○ 教官文庫 (4月より本号発行までの御寄贈分)

- 「虚像の鳩」 高安国世(教養部教授)著 白玉書房 昭43
- 「アジアの革命」 高坂正堯(法学部助教授)等著 毎日新聞社 昭41
- 「宰相吉田茂」 高坂正堯(法学部助教授)著 中央公論社 昭43
- 「経済学と歴史意識」 出口勇蔵(経済学部教授)著 ミネルヴァ書房 昭43
- 「やきもの技術・生活・美学」 吉田光邦(人文科学研究所助教授)著 日本放送出版協会 昭41
- 「日本の職人像」 吉田光邦(人文科学研究所助教授)著 河原書店 昭41
- 「お雇い外国人②産業」 吉田光邦(人文科学研究所助教授)著 鹿島研究所出版会 昭43
- 「シェイクスピアはわれらの同時代人」 ヤン・コット著 蜂谷昭雄(教養部助教授)喜志哲雄(教養部助教授)訳 白水社 昭43
- 「ロシア経済思想史の研究」 田中真晴(経済学部教授)著 ミネルヴァ書房 昭42
- 「近代物理学」改訂版 荒勝文策(名誉教授・理)編 培風館 昭43
- 「情報処理とその装置」 坂井利之(工学部教授)著 日刊工業新聞社 昭42
- 「情報科学講座E.19.1 パターン認識の理論」 坂井利之(工学部教授)編 共立出版 昭42
- 「情報科学講座E.19.2 文字・図形の認識機械」 坂井利之(工学部教授)編 共立出版 昭42

○ Besterman, Theodore : A World Bibliography of Bibliographies ; and of bibl. catalogues, calendars, abstracts, digests, indexes, and the like. 4th ed. rev. and enl. 1965—66. 5v. (世界の書誌の書誌)

初版は1939—40年に刊行され全2巻であったが、本書は全5巻になっており、第5巻はIndex になっている。

この書誌は1470年のいわゆる incunabula より1963年にいたる世界のあらゆる分野の文献目録117,000冊の総目録を、約16,000の主題に分ちその主題のアルファベット順に収録したものである。各主題内においてはそれぞれ、その刊行の時代順に配列し、主題間の関連については十分に cross-reference をほどこして間然するところがない。Index は本巻とは異なり、主題によらず、目録の著者・編者・訳者名および図書館、文庫など団体名などすべて名前のアルファベットにしたがって配列され、索引されるのである。

本書はいわゆる所在目録ではない。読者の真の文献追跡はむしろここからはじまるのであって、その困難を思うとき、文献の所在を教え、容易にそのものを提供し得るようなセンターの確立こそ要望されるのである。